



たばこまち

青森市立菫町小学校 学校だより 第5号 平成30年8月24日

学校の教育目標
進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

新聞を読む

校長 福士博司

中学校で国語を教えていたころのことです。いつの年とは限らず、受験生となった中学3年生が、必ずといってよいほどよく尋ねることがあります。「最近、国語のテストで点数が取れなくなってしまいました。特に読み取り問題が解けなくなってきたのですが、どうしたらいいですか?」。私は答えます、「新聞のコラムでもいいし社説でもいいから、今日から3か月間、毎日、新聞を読み続けてごらん。3か月後には、何らかの成果が出るよ。」と。確実に、とは言えませんが、数か月たつと成果が表れて受験に臨める力が備わるようになるものです。

さて、8月上旬の新聞に次のような見出しが飾られました。

新聞よく読む児童生徒 全教科 高い正答率

小6、中3を対象に4月に行われた全国学力テスト結果分析の記事の見出しでした。下は新聞を読む頻度ごとの各教科の正答率を示しています。

小 学 校					
新聞を読む頻度	国語A	国語B	算数A	算数B	理 科
ほぼ毎日読んでいる	78.8%	62.6%	72.8%	62.3%	67.1%
週に1~3回程度読む	76.3	60.3	69.2	58.4	64.9
月に1~3回程度読む	72.4	56.3	64.9	53.2	61.5
ほとんど、または、全く読まない	68.4	52.4	61.2	48.7	58.4

新聞を読む頻度とテストの正答率との関係を文部科学省が分析したところ、新聞を読む頻度の高いほうが頻度の低い子どもに比べて、全教科で平均正答率が高かったとのこと。これほどの違いが明らかになるとは、正直言って驚きでした。私にとってとても興味深い結果が示されました。

本校で「新聞コーナー」を設けていることは、以前学校だよりでも紹介していました。そもそもの目的は、活字に慣れさせ、文章に慣れさせ、内容を読み取れる子どもを増やしたいという思いからでした。文章に慣れ親しむことにより、読解力が増していき、将来にわたって「読む力」という財産が身につくであろうという、これまでの長年の経験から、ぜひ菫小生に取り組みさせたい、その一心で2年前に始めたものでした。

今は、インターネットやスマホで記事を購読し、新聞を取らない家庭も増えてきたようですが、学校に来れば新聞を読むことができます。液晶ディスプレイを通さずに、紙に印字された紙面に触れることができます。今回出された分析結果をご覧になりどのようにお考えになるでしょうか。

新聞を読むことは、活字や文章に触れるだけでなく、世の中の動きや事象に触れることができ、それらに対して自分がどう考えるのか、考えの整理・構築ができます。思考の広がりや精神的な成長も促されます。そんな利点が正答率を押し上げていることは否定できません。2学期も新聞コーナーは開設されています。これまで以上に、新聞を読む子どもが増えるようにしていきます。

暑さが戻り、2学期が始まりました。菫小っ子にとって、実りの秋を迎えさせたいものです。ご支援・ご協力をお願いします。



相手の心に寄り添って ーいじめのない未来づくり子どもサミットー

8月18日(土)、青森市教育委員会が主催する同サミットが開催され市内の小中学校から2名ずつ参加し、4~5名のグループに分かれ、意見交換などのグループワークを行いました。本校からは企画委員会の6年 □□創太くんと5年 蛭名○○さんの2名が参加しました。

グループワークでは、なかよしグループの一人が仲間はずれになった出来事をもとに、「相談をすること・しないこと」、「相談するならどんな風に相談するか」、「相談しないならどんなことができるか」を意見交換したりしました。感想発表では、「相手の心に寄り添って考えることが大切。」などが聞かれました。

シリーズ学校が変わる特別編「ゲートキーパー」「性的マイノリティ」「協働活動」

教頭の木村が夏休みに参加した研修会の中から、保護者や地域の皆さんに、是非、知っておいてもらいたいと思ったことを3つ紹介したいと思います。

「ゲートキーパー」

自殺を考えている人に出会った時に、サインに気づき、自殺を防ぐ門番の事です。自ら命を絶つ子どもがなくなるように、ゲートキーパーは学校にも地域にも必要です。キーワードは「きょうしつ」「きづいて」「よ」く聴き、「う」け止めて、「し」ん頼できる専門機関に「つ」なげる。

「性的マイノリティ」

世の中にはいるがどこか遠くの話という認識でしたが、ある調査では10パーセントが当事者であり、実はかなり身近なことでした。私たち教師や保護者、地域に大人たちは、正しく理解しているでしょうか。不用意な言葉で傷つけてはいないだろうか。知らないでは、もう済まないことでした。

「協働活動」

地域学校協働活動の事です。これまでも、学校は地域に支えられてきましたが、そこに新たな視点として「学校を核とした地域づくり」が加わりました。子どもを共に育てることで、地域の結びつきが生まれたり、地域が元気になることにつながったりするということです。これからもよろしくお願いします。

平成30年度菫町小学校地域防災訓練のお知らせ

今年度も菫町小学校地域防災訓練を開催します。主な内容は、水消火器を使った消火訓練、各町会に支給されている機材の組み立てなどの取扱訓練、一次救命処置訓練、非常食の炊き出し体験です。万が一に備え、是非、ご参加ください。

日 時	9月2日(日)	9:00~12:00
会 場	菫町小学校 校庭・体育館(雨天時は体育館)	
内 容	~9:00	校庭集合
	9:00~	開始式(挨拶、訓練内容説明等)
	9:15~	消火訓練
	9:45~	支給機材の取扱訓練
	10:30~	一次救命処置訓練



フリー参観日のお知らせ

フリー参観日を下記のとおり開催いたします。当日は、授業参観及びすくすく健康会議を行う予定です。どなたでも参観できますので、是非、子どもたちの様子を見にいらしてください。

- 1 期日 平成30年9月10日(月)
- 2 日程 9:20~10:05 授業参観
10:05~10:20 中休み
10:25~11:10 授業参観
11:15~12:00 すくすく健康会議(体育館)

テーマ「睡眠の大切さを知ろう」
講演 講師 青森県立中央病院 医療管理監 小野正人氏

8・9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
26日	27日	28日	29日	30日	31日	9月1日
	引落日 夏休み作品展 (~9月10日)	全校朝会 着衣泳教室 (5・6年)	県学習状況調査 (5年)	読み聞かせ(1~3年) 委員会 4・5年校外学習		
2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
地域防災訓練	体位・視力検査 (1~3年) 代表委員会	体位・視力検査 (4~6年) 児童集会	国際交流員来校 1年校外学習 (国際芸術センター)	読み聞かせ(4~6年) 研修会参加のため 午前授業	避難訓練 (不審者対応)	
9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
	フリー参観日 すくすく健康会議	全校朝会	国際交流員来校	読み聞かせ(4~6年) クラブ 職員会議	学区巡回	
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
	敬老の日	児童集会	国際交流員来校	委員会	市教育委員会訪問 のため午前授業	
23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
秋分の日	振替休日	児童集会 劇団四季観劇 (6年)	引落日 国際交流員来校	クラブ		

10月以降の2学期の主な行事

- 10月: 10日(水) 学習発表会総練習、13日(土) 学習発表会、15日(月) 振替休業日
17日(水) 連合音楽会【弁当有り】、24日(水) 引落日、25日(木) 鑑賞教室
11月: 6日(火) 菫小っ子集会、7日(水) 避難訓練、26日(月) 引落日
12月: 7日(金) 参観日、12日(水) 引落日、21日(金) 2学期終業式

